

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和07年12月03日

計画の名称	中央市暮らしやすさを創造する下水道事業(防災・安全)(重点計画)												
計画の期間	令和02年度 ~ 令和06年度 (5年間)								重点配分対象の該当	○			
交付対象	中央市												
計画の目標	重要な管渠の耐震化を進め、ライフラインの強化を図るとともに災害時に必要となる設備等を計画的に整備する。												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	102	A	90	B	0	C	12	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	11.76	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R2	R4	R6
1	重要な管渠の地震対策実施率を73%(R2年度当初)から80%(R6年度末)に増加させる。			
	重要な管渠の地震対策実施率 重要な管渠のうち地震対策済管渠延長(m) / 重要な管渠の延長(m)	73%	77%	80%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況		
												R02	R03	R04	R05	R06					
一体的に実施することにより期待される効果																					
備考																					
下水道事業	A07-001	下水道	一般	中央市	直接	中央市	管渠(汚水)	改築	重要な管渠の耐震対策(地震対策)	管路施設耐震化 L=1.2km	中央市						32		策定済		
	A07-002	下水道	一般	中央市	直接	中央市	管渠(汚水)	新設	マンホールトイレ施設整備(地震対策)	2箇所	中央市							6		策定済	
	A07-003	下水道	一般	中央市	直接	中央市	管渠(汚水)	新設	災害時応急復旧施設整備(地震対策)	非常用発電施設設置3箇所	中央市							46		策定済	
	A07-004	下水道	一般	中央市	直接	中央市	-	-	総合地震対策計画策定(地震対策)	総合地震対策計画策定(地震対策)	中央市							6		策定済	
												小計							90		
												合計							90		

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制 中央市土木工事調整会議において実施	事後評価の実施時期 令和7年5月7日
	公表の方法 市のホームページ
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	本計画における重要な幹線の耐震対策を行い、ライフラインの強化をはかることができた。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	避難所に指定されている2箇所のマンホールトイレとマンホールポンプの非常用発電機2箇所を整備し災害に強いまちづくりを進めることができた。
特記事項（今後の方針等）	
大規模災害に備え、引続き本市総合地震計画に位置付けられた耐震対策、マンホールトイレの整備等を順次実施していく。	

(参考図面)社会資本整備総合交付金

計画の名称	中央市暮らしやすさを創造する下水道事業(防災・安全)(重点計画)		
計画の期間	令和2年度から令和6年度 (5年間)	交付対象	中央市

